

## 行仙宿の迎春準備と下北山村役場訪問

◇実施日 平成26年12月22日(月) 晴時々雪時雨、

◇参加者 川島 功、沖崎吉信、生熊敏男、樋口義也

濱野兼吉、梶野照雄

計6名

熊野市の松本峠の駐車場で、紀北町長島区の樋口さんと合流し行仙宿に向かう。樋口さんは「熊野古道伊勢路」の語り部として指導的な役割をなさっている方で、「ツヅラト峠」や「荷坂峠」には、樋口さんを指名で語り部の依頼が多く、世界遺産10周年の今年は非常に忙しかったとのことである。

私も沖崎さんを通じて伊勢路の名所、旧跡等の教えをいただいた。古道だけでなくアルプスの劔岳、薬師岳をはじめ岩登り、雪山もこなしたベテランである。今日はニツカボツカ姿の粋な出で立ちで颯爽としている。

浦向集落を過ぎ、国道425を上りはじめると道路はうっすらと雪化粧。雪道の中に轍が林道に入っても続き、車中では誰なんだろうと話題になるが・・・。補給路の登り口に和泉ナンバーの車が駐車していて、先に上がったらしい。

雪がちらついているが、雪雲に切れ間があり、雪などへの装備をせざるに済みそうだ。

それぞれ背負子に荷上げの荷物を載せる。私はビール1ケース。背負い子を担ぐと缶ビールがケースから飛び出す。いつものことながらドジを踏み、沖崎さんからケースをきちんと固定するよう教えていただく。補給ルートを休息もいれながらゆつくりのぼる。

佐田ノ辻に着くと尾根を渡る風が冷たく頬を刺す。冷たいと

いうより痛い、ここは風の通り道。夏は涼しく心地よいが、冬は大変厳しい。入り口の寒暖計はマイナス4度。

先発は梶野照雄さんで、今回の行事に堺市から馳せ参じてくれた山彦の力強い助っ人で、金属関係の仕事をしていて、アルミの脚立などをいつでも作ってくれるとの事である。

遠来の仲間ながらよく大峰山系へは入っていて、深仙の避難小屋の塗装や平治小屋の塗装も協力いただいた頼もしい人である。9月の釈迦ヶ岳く楊枝ノ森の倒木処理にも行かれ、その時の動画や釈迦ヶ岳の空撮の映像も小屋で見せていただいた。山彦にはさまざまなエキスパートがいて、私のような凡人には非常に興味深い。

一段落した後、行者堂にて新年を迎えるために檜をさし、お供え替え。先日送付頂いた光道院一同様からの灯明料もお供えし、生熊導師による勤行で身が引き締まる。



第2ベンチで休憩

行者堂に光道院のお供え

行者堂で勤行

沖崎・生熊・梶野さんは、玄関の注連飾り、宿内の片付けや管理棟の整理、雨水貯槽の水抜き。玄関前の貯槽は室内へ移管。

川島、樋口さんと私は、水場へ注連縄の張り替えに降りる。秋には枯れていた水場は凍る事もなく、岩場を伝って小さな滝となり、澄み切ったきれいな水が流れ落ちている。川島さんが

岩場のボルトに注連縄を結え、私と樋口さんで対岸へ渡した片方を結わえる。注連縄がピンと張られシデが垂れると、この小さな滝も神々しく見える。この水が動植物を育て、私達にも恵みを与えてくれる命の水、穢してはならない命の源である。水場から戻ると少し早いですがストーブの暖で昼食になる。



水場の注連縄替え

宿内迎春飾り

管理棟迎春飾り

今日はなぜか食事時にはそぐわない糞尿癖がでる。最初の話の切り出しは誰なのか判らないが、生熊さんから戦後叔父の話としてシベリアに抑留された時に、余りの寒さに耐えきれず自分がついたウンコの中に手を突っ込み暖をとった話。

樋口さんは横尾の小屋で電池をトイレの中に落としましたが、凍って汚物にまみれることなく電池は氷を滑ってくみ取り口から拾い上げた話。最悪は入れ歯を酔って吐き便槽に落とした話等それぞれ珍談や体験談が出て抱腹絶倒した。

昼食後京都からの3人連れが小屋に見え、コーヒードで接待。川島さんより山彦の活動の説明やホームページを活用してくれるよう要請した。私は宿泊利用ノートに本日の作業を記す。

小屋の中を掃きカレンダーを張り替え、御神酒と鏡餅を供え本日の作業を終了。

もはらクリニックから差入れして下さったインスタント味噌汁は、冬場は使いきれないので一部を残し、それぞれにお土産に分け合って小屋を後にする。



室内2℃で昼食中

参加者揃う

登山口水場の新注連縄

登山口の水場にも注連縄を張り替え本日の作業を終了。最後に記念写真を撮り、階段梯子を下りた。朝から舞っていた雪も、降り積もることなく終わった。心配された帰りも道路の雪が解け、凍ることなく安心して通る。

帰路、下北山村役場を表敬訪問、川島・沖崎・梶野さんが代表して村長・副村長・総務課長・産業建設課に今年後半の山彦の活動報告を行った。

今年1月橿原市で行われる奈良県森林環境税の活用状況を村長が発表し、その中で山彦の活動も紹介してくれるとの話。私達の活動もしっかり見守ってくれる人達がいる事は嬉しい限りである。

3月までは緊急なことがない限り、南奥駆道での活動は休眠期になる。

しばしの間充電し、再会を約束してそれぞれ帰路についた。

(記 濱野)

## ◇下北山村役場訪問

面談者；上平村長、南副村長、勝平総務課長、

田室産業建設課主幹。

訪問者；川島・沖崎・梶野。

行仙宿の迎春準備に行つた帰りに、急遽訪問させて頂いた。

- ①玉岡さんが元気になられ、知事・大臣表彰の推薦にご尽力賜わつた御礼と一時中断の国の叙勲申請手続きは再開を報告。
- ②本年度の援助御礼と次年度も引続き継続援助をお願いした。
- ③奈良県森林環境税による事業取組状況の報告「森林の適切な保全と活用シンポジウム」が平成27年1月10日・橿原文化会館で開催され、上平村長がパネリストとして登壇され、その席上新宮山彦ぐるーぷの活動も紹介下さるとのこと。環境税の使い方として、当ぐるーぷへ補助金が認められる可能性もあるとのこと。

④次年度には、太古ノ辻の道標・案内板の取替、持経宿改築を計画している事を報告。総務課長から持経宿改築が決まれば、善処する旨の話があつた。

⑤3年前、転法輪岳付近の村長所有林(1/2所有権)から間伐伐採した材を用いて、平治宿・水場径の改修が出来た御礼。

平治宿に東屋・ベンチ等設置する案があり、その際に再度間伐伐採をお願い、村長から必要時伐採の快諾を得ました。

⑥後半の新宮山彦ぐるーぷ活動報告書を提出。

⑦産業建設課に立寄り、シンポジウムで村長発表の資料作成の為、当ぐるーぷの作業活動の写真提供要請が川島にあり、

S Bメモリで渡し、掲載写真が見つかり本日返却頂いた。

又、当ぐるーぷ会員数を聞かれ、本年の参加者は90名あるが、約60〜65名と返答。

(記 川島)

## 行動タイム

新宮 7:00→8:30 登山口 8:45→9:30 行仙宿 13:20→13:55 登山口  
14:10→14:30 下北山村役場 15:15→16:40 新宮

## 寄贈品

お供え・灯明料3万円；光道院一同。  
志納金5万円；もはらクリニック。